

## 2007年度 大学院生の研究活動記録

注

行動学系	在籍者 65名	回答者 46名	研究成果 有 38名 無 8名	成果有の人数(%) 83%
	回答者率	71%		

1. 先端人間科学講座所属生は、指導教員の関連学系に含める。
2. 研究生も含める。
3. 記載の仕方は院生の提出したものによる。
4. 論文の審査有無は、自己申告による。

1	指導教員	赤井 誠生	副指導教員	森川 和則		
	氏名	松下 戦具	研究室名	基礎心理学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	Weibull-Gaussianモデルによる視覚探索の反応時間の分析	松下戦具・赤井誠生	2007年9月	日本心理学会第71回大会	
	学会発表	RT analysis with the weibull-gaussian convolution model	Matsushita, S.	October 2007	The 23rd Meeting of the International Society of	

2	指導教員	赤井 誠生	副指導教員	森川 和則		
	氏名	山村 悟史	研究室名	基礎心理学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	動機づけは随伴性判断課題にどこまで影響するか	山村悟史・赤井誠生	2007年6月29日	日本心理学会第71回大会	

3	指導教員	苜阪 満里子	副指導教員	森川 和則		
	氏名	木下 侑里子	研究室名	基礎心理学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	言語性ワーキングメモリと訓練効果—抑制機能の観点から—	木下 侑里子・苜阪満里子	2008年3月8日	第5回日本ワーキングメモリ学会	

4	指導教員	三浦 利章	副指導教員	篠原 一光		
	氏名	内藤 宏	研究室名	適応認知行動学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	The allocation of attention on a visual display during reaching movements	Hiroshi Naito, Toshiaki Miura, & Takahiko Kimura	2006年12月	Journal of Human Ergology, 35, 21-29.	○
	学会発表	行為が視覚探索効率に及ぼす影響	内藤宏・三浦利章・木村貴彦	2007年5月26日	日本認知心理学会第6回大会論文集 p.135	
	学会発表	Effects of goal-directed movements on the relation between size of the attentional area and efficiency of visual search	Hiroshi Naito, Toshiaki Miura, & Takahiko Kimura	2007/8/27-31	30th European Conference on Visual Perception, Arezzo, Italy, (Abstract in Perception, 36 Supplement, 131)	
	学会発表	垂直方向における注意配分に行為が及ぼす影響—視覚探索課題を用いた検討—	内藤宏・三浦利章・木村貴彦	2007年9月19日	日本心理学会第71回大会論文集 p.625	
	学会発表	行為の有無がRepresentational momentumに及ぼす影響: 実際空間内での接近対象を用いた検討	木村貴彦・三浦利章・内藤宏・篠原一光	2007年9月19日	日本心理学会第71回大会論文集 p.659	
	学会発表	垂直方向での視覚探索パフォーマンスに行為が及ぼす影響	内藤宏・三浦利章・木村貴彦	2007年12月8日	日本基礎心理学会第26回大会, 研究発表要旨p.42	

5	指導教員	三浦 利章	副指導教員	篠原 一光		
	氏名	駒田 悠一	研究室名	適応認知行動学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	模擬道路上での方向変化の検出	駒田悠一・篠原一光・三浦利章	2007年5月1日	日本認知心理学会 第5回大会 発表論文集	
	学会発表	衝突可能性のある方向変化の検出に視覚負荷の与える影響	駒田悠一・篠原一光・三浦利章	2007年7月	日本心理学会 第71回 発表論文集	
	学術論文	複数対象の運動法後編か検出における注意の効果	駒田悠一・篠原一光・三浦利章	2007年8月31日	認知心理学研究 第5巻 第1号 (2007) 43-51	○

### <受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2007.11	木村貴彦・篠原一光・駒田悠一・三浦利章	第5回日本認知心理学会優秀発表賞	日本認知心理学会

6	指導教員	三浦 利章	副指導教員	篠原 一光		
	氏名	佐藤 文昭	研究室名	適応認知行動学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	split attentionの分布特性	佐藤文昭・木村貴彦・篠原一光・三浦	2008年1月23日	vision, 20(1). 32.	

7	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹		
	氏名	上出 寛子	研究室名	対人社会心理学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	3次元計測法による日本人の顔面表情の測定(1)―顔形態特徴の検討―	大坊郁夫・上出寛子	2007年5月24日	電子情報通信学会技術研究報告, 107(59), 107-112.	
	学術論文	3次元計測法による日本人の顔面表情の測定(2)―社会的スキルとの関係―	上出寛子・大坊郁夫	2007年5月24日	電子情報通信学会技術研究報告, 107(59), 113-118.	
	学術論文	顔形態特徴の日中韓比較(2)―社会的スキルとの関連から―	上出寛子・大坊郁夫・村澤博人・趙鏞珍・毛新華・高橋直	2007年9月30日	電子情報通信学会技術研究報告,107(241), 19-24.	
	学術論文	顔形態特徴の日中韓比較(1) -顔面表情に伴う顔形態の文化比較-	大坊郁夫・上出寛子・村澤博人・趙鏞珍・毛新華・高橋直	2007年9月30日	電子情報通信学会技術研究報告,107(241), 13-18.	
	学術論文	対人関係において認知された自己と親密度の関連―現代の大学生の様々な親密な関係―	上出寛子・大坊郁夫	2008年3月30日	対人社会心理学研究, 8, 印刷中	○
	学会発表	Three-dimensional measurement of physiognomic features on some facial expressions ; Relationship between social skills and facial expression of Korean and Chinese students.	KAMIDE,H. and DAIBO, I.	2007年7月28日	Poster Presentation Presented at at the Asian Association of Social Psychology 7th Biennial Conference, Kota Kinabalu, Malaysia	○
	学会発表	eudaimonic, hedonic well-beingについての社会心理学的検討	上出寛子	2007年9月19日	日本心理学会第71回大会発表論文集, 19. 東洋大学	
	学会発表	Art of Well-being.―よい人生とは何か―	上出寛子・大坊郁夫	2007年9月23日	日本社会心理学会第48回大会発表論文集, 178-179. 早稲田大学	
	学会発表	Autobiographical memories and a good life: maturity and happiness in Japan	KAMIDE,H. and DAIBO, I.	2008年2月8日	Poster Presentation Presented at the 9th Annual Meeting of the Society for Personality and Social Psychology, Albuquerque, New Mexico	○

8	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹・足立 浩平		
	氏名	清水 裕士	研究室名	対人社会心理学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	分担執筆	恋愛関係における相互作用構造の研究―階層的データ解析による間主観性の分析―	清水裕士・大坊郁夫	2008年2月1日	心理学研究 印刷中	○
	学会発表	投資行動への評価への意図性と固有性の効果～固有な他者への利他的投資の規範～	清水裕士・大坊郁夫	2007年9月24日	日本社会心理学会第48回大会発表論文集, 150-151.	
	学会発表	The effect of intentionality on evaluation of investment behaviors in social exchange.	Simizu, H & Daibo, I	2007年7月22日	The 5th biennial conference of the Asian Association of Social Psychology, Kota Kinabalu, Malaysia	○
	学会発表	葛藤解決方略としての社会規範相互依存性理論に基づく理論的考察	清水裕士・小杉考司	2007年6月16日	日本グループダイナミクス学会第54回大会発表論文集, 26-27.	
	学会発表	Scaling for family relationships based on socion theory by using a three - mode item response model	KOSUGI,K.,SHIMIZU,H., FUJISAWA,T., ISHIMORI,M., WATANABE,F., & FUJISAWA,H	2007年7月10日	International meeting of psycometric sciety 2007, Tokyo, Japan.	

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2007.6	清水裕士・小杉考司	日本グループダイナミクス学会優秀発表賞	日本グループダイナミクス学会

9	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹		
	氏名	村山 綾	研究室名	対人社会心理学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	The effect of intragroup conflict and argumentativeness on choices of resolution styles	村山綾・大坊郁夫	2007年7月28日	The 7th Conference of Asian Association of Social Psychology. Kota Kinabalu, Malaysia.	○
	学会発表	集団内葛藤への対処行動と他メンバーに対する信頼 -日米大学生の比較から-	村山綾・大坊郁夫	2007年9月23日	日本社会心理学学会第48回大会論文集 266-267	
	学術論文	課題解決集団内における2種類の葛藤-メンバーの影響力の差と時間制限が集団内葛藤知覚に及ぼす影響	村山綾・大坊郁夫	2007年11月12日	電子情報通信学会科学技術報告, 107, 51-56	

10	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹		
	氏名	毛 新華	研究室名	対人社会心理学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	顔形態特徴の日中韓比較(1)-顔面表情に伴う顔形態の文化比較-	大坊 郁夫・上出 寛子・趙 鏞珍・毛 新華・高橋直樹	2007年9月30日	電子情報通信学会技術研究報告、107(241), 13-18.	
	学術論文	顔形態特徴の日中韓比較(2)-社会的スキルとの関連から-	上出 寛子・大坊 郁夫・趙 鏞珍・毛 新華・高橋直樹	2007年9月30日	電子情報通信学会技術研究報告、107(241), 19-24.	
	学術論文	社会的スキルの内容に関する中国人大学生と日本人大学生の比較	毛 新華・大坊 郁夫	2008年3月	対人社会心理学研究、8(印刷中)	
	学会発表	Three-Dimensional Measurement of Physiognomic Features of Some Facial Expressions: The Cases of Asian Students	Ikuro DAIBO, Hiroko KAMIDE & Xinhua MAO	27th July 2007	the 7th biennial conference of the Asian Association of Social Psychology	
	学会発表	Three-Dimensional Measurement of Physiognomic Features of Some Facial Expressions: Relationship Between Social Skills and Facial Expression of Korean and Chinese Students	Hiroko KAMIDE, Ikuro DAIBO & Xinhua MAO	27th July 2007	the 7th biennial conference of the Asian Association of Social Psychology	
	学会発表	The effects of social skills training for Chinese-university students.	Xinhua MAO & Ikuro DAIBO	28th July 2007	the 7th biennial conference of the Asian Association of Social Psychology	
	学会発表	中国人大学生を対象とする社会的スキル・トレーニング(SST)の試み(2)-3ヶ月追跡調査から見るSSTの効果の持続性-	毛 新華・大坊 郁夫	2007年9月19日	日本心理学会第71回大会発表論文集 167.	
	学会発表	中国人大学生を対象に実施した社会的スキル・トレーニング効果に関する自己・他者評価の検討	毛 新華・大坊 郁夫	2007年9月23日	日本社会心理学学会第48回大会発表論文集 474-475.	
	学会発表	文化的要因を考慮した社会的スキル・トレーニング(SST)の効果に関するトレーニング期間の比較-中国人大学生を対象に-	毛 新華・大坊 郁夫	2007年11月24日	日本コミュニケーション学会(CAJ)関西支部2007年度支部大会	

11	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹		
	氏名	笠置 遊	研究室名	対人社会心理学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	対人コミュニケーションにおけるメタ知覚の向上の試み-自己観察の手法を用いて-	磯友輝子・笠置遊・大坊郁夫	2007年9月18日	日本心理学会第71回大会発表論文集, 98.	
	学会発表	二者間の会話場面における異性・同性への自己呈示-自己呈示動機及び自己呈示行動の検証-	笠置遊・磯友輝子・大坊郁夫	2007年9月23日	日本社会心理学学会第48回大会発表論文集, 630-631.	

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2008.1	笠置 遊	日本社会心理学学会 平成19年度若手研究者奨励賞	日本社会心理学学会

12	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹		
	氏名	横山 ひとみ	研究室名	対人社会心理学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	非言語的コミュニケーションの持つ説得効果に関する研究 ~スピーチ速度と視線の役割~	横山ひとみ・大坊郁夫	2007年9月23日	日本社会心理学学会第48回大会発表論文集, 534-535.	
	学会発表	非言語的コミュニケーションの持つ説得効果に関する研究: スピーチ速度と視線の役割	横山ひとみ・大坊郁夫	2007年11月24日	2007年度日本コミュニケーション学会(CAJ)第6回CAJ関西支部大会	

13	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹		
	氏名	浅野 良輔	研究室名	対人社会心理学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	精神的健康に及ぼす「首尾一貫感 覚の影響」	浅野良輔・堀毛裕 子・大坊郁夫	2007年9月23日	日本社会心理学会第48回大会論文 集, 518-519	
14	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹		
	氏名	邵 木子	研究室名	対人社会心理学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	日本人における幸福感とは何かー 包括的幸福感と領域別の幸福感の 関連についてー	邵 木子・堀内 孝・ 大坊郁夫	2007年9月23日	日本社会心理学会第48回大会発表 論文集 524-525	
15	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹		
	氏名	谷 忠邦	研究室名	対人社会心理学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	ユーモアと社会適応に関する基礎 的研究	谷忠邦・大坊郁夫	2008年3月	対人社会心理学研究, 8(印刷中)	
16	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹		
	氏名	多留 里香	研究室名	対人社会心理学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	対人葛藤場面における女子大学生 の自己開示の持つ働きに関する研究	多留 里香・佐橋 由 美・大坊 郁夫	2007年9月23日	日本社会心理学会第48回大会発表 論文集 642-643.	
17	指導教員	大坊 郁夫	副指導教員	釘原 直樹		
	氏名	西浦 真喜子	研究室名	対人社会心理学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	会わなくても親しい友人ー友人関 係態度の研究ー	西浦真喜子・大坊郁 夫	2008年9月	日本社会心理学会第48回大会発表 論文集 540-541.	
18	指導教員	釘原 直樹	副指導教員	大坊 郁夫		
	氏名	阿形 亜子	研究室名	対人社会心理学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	利他的及び利己的状況における社 会的手抜きさの検討	阿形亜子・釘原直樹	2007年9月22日	日本社会心理学会 第48回大会発 表論文集, 376.	
19	指導教員	藤田 綾子	副指導教員	南 徹弘		
	氏名	出野 美那子	研究室名	臨床死生学・老年行動学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	児童期中期から青年期前期の慢 性反復性トラウマ反応把握の試 み: 児童養護施設児を対象として	出野美那子	2008年3月	トラウマティック・ストレス, 6(1). (印刷 中)	○
	学会発表	被虐待児における愛着スタイル・対 人交渉方略が対人的不適応に及 ぼす影響	出野美那子	2008年3月19-21日	日本発達心理学会第19回大会, 大 阪.(予定)	
	大学・研究 所等報告	子どもの心理社会的不適応に関す る文献的研究ー1. 不適応の状態 像についてー	出野美那子	2007年12月	生老病死の行動科学(大阪大学人 間科学研究科臨床死生学・老年行 動学研究分野), 12, 23-33.	
	大学・研究 所等報告	子どもの心理社会的不適応に関す る文献的研究ー2. 不適応への影 響要因についてー	出野美那子	2007年12月	生老病死の行動科学(大阪大学人 間科学研究科臨床死生学・老年行 動学研究分野), 12, 35-45.	
	学術論文	児童養護施設における青年期前期 の子どもの愛着状態と心的外傷性 症状	出野美那子	2008年8月	発達心理学研究, 19(2). (印刷中)	○

20	指導教員	藤田 綾子	副指導教員	釘原 直樹		
	氏名	中原 純	研究室名	臨床死生学・老年行動学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	向老期世代の現在の生き方と高齢期に望む生き方の関係	中原純・藤田綾子	2007年4月20日	老年社会科学、29、1、30-36.	○
	学術論文	役割欠如による心理的well-beingへの負の影響に対するボランティア活動の緩衝効果—中高年者を対象とした横断的検討—	中原純	2007年10月31日	高齢者のケアと行動科学、13、1、15-22.	○
	学会発表	プロダクティブ・エイジング志向性尺度作成の試み	中原純・竹村節子・狩谷明美・中里和弘・久保尚子・長塚美和・枝さゆり・荒井龍淳・河村諒・藤田	2007年6月10日	老年社会科学大会報告要旨号251.	
	学会発表	祖父母世代の子育て支援に関する研究—内的ワーキングモデルを用いた検討—	田淵恵・中原純・藤田綾子	2007年6月10日	老年社会科学大会報告要旨号214.	
	学会発表	前期高齢者の向老期と現在の生き方の関係	中原純・藤田綾子	2007年7月	日本心理学会第71回大会発表論文集 1116.	
	大学・研究所等報告	中高年者のボランティア活動ニーズと属性的規定因—団塊の世代は違うのか?—	中原純	2007年12月25日	生老病死の行動科学、12、3-11.	
	大学・研究所等報告	祖父母世代における子育て支援意欲と支援への問題意識—祖父世代と祖母世代の差異に着目して—	田淵恵・中原純	2007年12月25日	生老病死の行動科学、12、13-22.	

21	指導教員	藤田 綾子	副指導教員	南 徹弘		
	氏名	中里 和弘	研究室名	臨床死生学・老年行動学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	プロダクティブ・エイジング志向性尺度作成の試み	中原純・竹村節子・狩谷明美・中里和弘・久保尚子・長塚美和・枝さゆり・荒井龍淳・河村諒・藤田綾	2007年6月21日	日本老年社会科学第49回大会論文集,251.	
	学会発表	遺族の後悔と精神的健康との関連—行ったことに対する後悔と行わなかったことに対する後悔—	塩崎麻里子・中里和弘・岸良美絵・山鹿しのぶ・高浪博美・恒藤暁・藤田綾子	2007年6月21日	日本老年社会科学第49回大会論文集,258.	
	学会発表	当院ホスピスで提供される看取りケアの評価	山鹿しのぶ・岸良美絵・高浪博美・中里和弘・塩崎麻里	2007年6月22日	日本緩和医療第12回大会論文集,247.	
	学会発表	ホスピスでがん患者を看取った遺族の後悔と精神的健康との関連	塩崎麻里子・中里和弘・岸良美絵・山鹿しのぶ・高浪博美・恒藤暁	2007年6月23日	日本緩和医療第12回大会論文集,185.	
	学術論文	終末期がん患者への緩和ケアにおける「安楽」について	中里和弘	編集委員会受理・印刷中	「臨床哲学」,9,ページ番号未定.	○
	会報誌	落語で笑いましょう	中里和弘	2007年9月15日	大阪・生と死を考える会・会報,27,2-5.	

22	指導教員	藤田 綾子	副指導教員	権藤 恭之		
	氏名	田淵 恵	研究室名	臨床死生学・老年行動学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	祖父母世代の子育て支援に関する研究—内的ワーキングモデルを用いた検討—	田淵恵・中原純・藤田綾子	2007年6月22日	老年社会科学大会報告要旨号、29、2、214.	
	学術論文	祖父母世代における子育て支援意欲と支援への問題意識—祖父世代と祖母世代の差異に着目して—	田淵恵・中原純	2007年12月25日	生老病死の行動科学、12、13-22.	○
	学会発表	Naturalistic experiment on relation between prospective memory and output monitoring in elderly adults.	Kouhei Masumoto, Megumi Tabuchi, Ryujun Arai, Ayako Fujita	14-18 October 2007	International Psychogeriatrics, 19, 370.	
	学会発表	Aging and exercise effect on discrepancies between actual physical ability and its recognition in older adults.	Ryujun Arai, Kouhei Masumoto, Megumi Tabuchi, Kei Hirai, Ayako Fujita	14-18 October 2007	International Psychogeriatrics, 19, 402.	
	学会発表	Relationships between implicit and explicit health attitudes and health-related behavior.	Kobayashi, C., Masumoto, K., Tabuchi, M., Arai, R., Hirai, K., Fujita, A.	July, 2007	7th Conference of Asian Association of Social Psychology, KotaKinabalu, Malaysia.	
	学会発表	Implicit and explicit self-esteem among elderly and young Japanese adults.	Kobayashi, C., Masumoto, K., Tabuchi, M., Arai, R., Hirai, K., Fujita, A.	July, 2007	Data presented at the symposium at the 7th Conference of Asian Association of Social Psychology, KotaKinabalu, Malaysia.	

23	指導教員	臼井 伸之介	副指導教員	中村 敏枝		
	氏名	松本 友一郎	研究室名	リスク人間科学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	上司との関係評価, コーピングがストレス反応に及ぼす影響—社会人と学生アルバイト従業員の比較—	松本友一郎・釘原直樹	印刷中	心理学研究	○
	学会発表	Human Relations and Job Burnout among Nurses in Japan	Matsumoto, T. & Usui, S.	2007年7月26日	7th Conference of Asian Association of Social Psychology	○
	学会発表	看護師の人間関係の認知と精神的健康に関する質的検討	松本友一郎・臼井伸之介	2007年9月2日	産業・組織心理学会第23回大会発表論文集 131-134.	

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2007.11	松本友一郎	平成19年度 大阪大学大学院人間科学研究科 大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科

24	指導教員	臼井 伸之介	副指導教員	中村 敏枝		
	氏名	中井 宏	研究室名	リスク人間科学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	運転技能における過信度測定ツールの開発とその有効性検証	中井 宏・臼井 伸之介	2007年6月20日	交通科学 Vol.32(2), 101-102.	○
	学術論文	運転技能の自己評価がリスクテイキングに及ぼす影響	中井 宏・臼井 伸之介	印刷中	交通心理学研究 Vol.23, 21-29.	
	学会発表	運転技能の過大評価傾向とドライバー特性の関連	中井 宏・臼井 伸之介	2007年6月9日	日本交通心理学会第72回大会発表論文集, 15-18.	
	学会発表	リスクテイキング傾向測定ツールの開発に向けて	中井 宏・臼井 伸之介	2007年9月8日	日本応用心理学会第74回大会発表論文集, 21.	
	学会発表	経験に伴う運転行動の変化について	中井 宏	2007年9月9日	日本応用心理学会第74回大会発表論文集, 10. 日本応用心理学会自主企画ワークショップ(企画者兼話題提供者)「自動車運転技能の自己評価とリスクテイキングについて	
	学会発表	先行車追従時に見られる攻撃的運転の規定因	中井 宏・臼井 伸之介	2007年12月1日	人間工学会関西支部大会講演論文集, 137-140.	

25	指導教員	臼井 伸之介	副指導教員	中村 敏枝		
	氏名	安達 悠子	研究室名	リスク人間科学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	原著論文	看護業務における違反事例の収集とその心理的生起要因に関する検討	安達悠子・臼井伸之介・篠原一光・松本友一郎・青木喜子	2007年2月	労働科学, Vol.83, No.1, 7-23.	○
	報告書	看護業務における中断エラーの防止に関する研究(1) —「準備中カード」システムについての実験的検討—	安達 悠子・小倉 有紗・臼井 伸之介・吉田 乃里子・青木 喜子・和田 一成・太刀掛 俊之	2007年3月	臼井伸之介(主任研究者) リスクマネジメント教育の有効性評価に関する総合的研究 厚生労働科学研究費補助金労働安全衛生総合研究事業平成18年度総括・分担研究報告書, 79-88.	
	報告書	看護業務における中断エラーの防止に関する研究(2) —「準備中カード」システムについての質問紙調査—	小倉 有紗・安達 悠子・臼井 伸之介・吉田 乃里子・青木 喜子・和田 一成・太刀掛 俊之	2007年3月	臼井伸之介(主任研究者) リスクマネジメント教育の有効性評価に関する総合的研究 厚生労働科学研究費補助金労働安全衛生総合研究事業平成18年度総括・分担研究報告書, 89-107.	
	学会発表	看護業務における中断によるエラー防止対策の実験的検討 —「準備中カード」の有効性について—	安達 悠子・小倉 有紗・臼井 伸之介・吉田 乃里子・青木 喜子・和田 一成・太刀掛 俊之	2007年9月18日	日本心理学会第71回大会発表論文集, 1223.	
	学会発表	看護業務における中断によるエラー防止対策の質問紙調査 —「準備中カード」システムについて—	小倉 有紗・安達 悠子・臼井 伸之介・吉田 乃里子・青木 喜子・和田 一成・太刀掛 俊之	2007年9月18日	日本心理学会第71回大会発表論文集, 1222.	

26	指導教員	臼井 伸之介	副指導教員	中村 敏枝		
	氏名	小倉 有紗	研究室名	リスク人間科学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	看護業務における中断によるエラー防止対策の質問紙調査—「準備中カード」システムについて—	小倉有紗・安達悠子・臼井伸之介・吉田乃里子・青木喜子・和田一成・太刀掛	2007年9月18日	日本心理学会第71回大会発表論文集, 1222	
	学会発表	看護業務における中断によるエラー防止対策の実験的検討—「準備中カード」の有効性について—	安達悠子・小倉有紗・臼井伸之介・吉田乃里子・青木喜子・和田一成・太刀掛	2007年9月18日	日本心理学会第71回大会発表論文集, 1223	
	大学・研究所等報告	看護業務における中断エラーの防止に関する研究(2)—「準備中カード」システムについての質問紙調査—	小倉有紗・安達悠子・臼井伸之介(主任研究者)・吉田乃里子・青木喜子・和田一成・太刀掛俊之	2007年3月	リスクマネジメント教育の有効性評価に関する総合的研究 厚生労働科学研究費補助金労働安全衛生総合研究事業平成18年度総括・分担研究報告書, 89-107	
	大学・研究所等報告	看護業務における中断エラーの防止に関する研究(1)—「準備中カード」システムについての実験的検討—	安達悠子・小倉有紗・臼井伸之介(主任研究者)・吉田乃里子・青木喜子・和田一成・太刀掛俊之	2007年3月	リスクマネジメント教育の有効性評価に関する総合的研究 厚生労働科学研究費補助金労働安全衛生総合研究事業平成18年度総括・分担研究報告書, 79-88	

27	指導教員	臼井 伸之介	副指導教員	中村 敏枝		
	氏名	淵 真輝	研究室名	リスク人間科学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	学生と実務経験者の避航操船の差異について	淵真輝	2007年9月9日	日本応用心理学会自主企画ワークショップ「経験に伴う運転行動の変化について」	
	学術論文	操船方略の経験による違い	淵真輝・古莊雅生・藤本昌志・臼井伸之	2007年9月25日	日本航海学会誌論文集, 第117号, 199-206	○
	学術論文	航法の適用について—海難審判の裁決と操船者の判断—	西井典子・古莊雅生・藤本昌志・淵真	2007年9月25日	日本航海学会誌論文集, 第117号, 237-244	○
	学術論文	Assessment of VTS Operators' Mental Workload by Using NASA Task Load Index	Serdar KUM・Masao FURUSHO and Masaki FUCHI	2008年3月1日	日本航海学会誌論文集, 第118号, 印刷中	○

28	指導教員	日野林 俊彦	副指導教員	南 徹弘・中道 正之		
	氏名	岸本 健	研究室名	比較発達心理学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	Not infants' reaching gesture, but infants' pointing gesture, provoke adult to comment.	岸本健・志澤康弘・安田純・日野林俊彦・南徹弘	2007年8月22日	The 13th European Conference on Developmental Psychology (on CD-ROM)	○
	学会発表	幼児はどのように他児の視線を誘導するか	岸本健・志澤康弘・安田純・日野林俊彦・南徹弘	2007年9月18日	日本心理学会第71回大会 発表論文集 Pp. 1026	
	学会発表	クレーン行動(3)	川上清文, 高井清子, 川上文人, 友永雅己, 岸本健, 南徹弘	2007年9月18日	日本心理学会第71回大会 発表論文集 Pp. 1048	
	学術論文	Do the pointing gestures of infants provoke comments from adults?	岸本健・志澤康弘・安田純・日野林俊彦・南徹弘	2007年12月	Infant Behavior and Development, 30, 562-567	○
	学会発表	養育者はどのように幼児の指さしに応答するか	岸本健・志澤康弘・安田純・日野林俊彦・南徹弘	2008年3月19日	日本発達心理学会第19回大会 発表論文集 (掲載ページ未定)	
	学術論文	Gaze following among toddlers.	岸本健・志澤康弘・安田純・日野林俊彦・南徹弘	2008年(掲載月未定)	Infant Behavior and Development (in press)	○

29	指導教員	日野林 俊彦	副指導教員	南 徹弘・中道 正之		
	氏名	山川 咲子	研究室名	比較発達心理学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	自由遊び場面における1-3歳児の身体接触行動	山川咲子・安田純・日野林俊彦・南徹弘	2007年7月	日本心理学会第71回大会発表論文集 P.1052	
	学会発表	幼児期における身体接触をともなう遊びの発達	山川咲子・安田純・日野林俊彦・南徹弘	未発行	日本発達心理学会第19回大会発表論文集 掲載ページ未定	

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2007.11	山川咲子	大学院学生データ収集・解析支援基金	大阪大学大学院人間科学研究科

30	指導教員	日野林 俊彦	副指導教員	南 徹弘・中道 正之		
	氏名	加藤 真由子	研究室名	比較発達心理学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	2-4歳齢保育園児の泣き行動と仲間関係	加藤真由子・安田純・日野林俊彦・南	2007年9月18日	日本心理学会第71回大会論文集1070.	
	学会発表	自由遊び場面における2歳齢保育園児の泣き行動	加藤真由子・安田純・日野林俊彦・南	2008年3月20日	日本発達心理学会第19回大会論文集	

31	指導教員	中道 正之	副指導教員	日野林 俊彦・南 徹弘		
	氏名	大西 賢治	研究室名	比較発達心理学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	勝山ニホンザル集団における母ザルの子ザルに対するマターナル・モニタリング行動	大西賢治・中道正之	2007年7月15日	霊長類研究、23(増補版), S-3.	
	学会発表	母子が離れた場面においてニホンザルの母ザルはどのように子ザルを見ているか	大西賢治	2007年9月15日	第4回子ども学会議論文集 子ども・進化・脳科学 22.	
	学会発表	母子が離れた場面でのニホンザルの母ザルの子ザルに対するマターナル・モニタリング行動	大西賢治・中道正之	2007年9月18日	日本心理学会第71回大会発表論文集 1043.	
	学会発表	ニホンザルにおける子ザルの行動発達と母ザルの子ザルに対するマターナル・モニタリング行動	大西賢治・中道正之	2008年3月19日	日本発達心理学会第19回大会論文集(掲載ページ未定)	

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2007.7	大西賢治	第23回日本霊長類学会大会 優秀口頭発表賞	日本霊長類学会

32	指導教員	志村 剛	副指導教員	熊倉 博雄		
	氏名	篠原 祐平	研究室名	行動生理学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	側坐核カンナビノイド1型受容体による高嗜好性溶液摂取行動の調節	篠原祐平・志村剛・山本隆	2007年12月	日本味と匂学会誌 14, 3, 361-364.	○
	学会発表	側坐核カンナビノイド1型受容体による高嗜好性溶液摂取行動の調節	篠原祐平・志村剛・山本隆	2007年7月	日本味と匂学会第41回大会	
	学会発表	Cannabinoid type-1 receptors in nucleus accumbens shell regulate palatability-induced drinking	篠原祐平・志村剛・山本隆	2007年9月12日	第30回日本神経科学大会	

33	指導教員	足立 浩平	副指導教員	狩野 裕		
	氏名	西田 豊	研究室名	行動データ科学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	基準率錯誤についての自然頻度仮説と等確率性仮説	西田豊・服部雅史	2007年9月3日	日本認知科学会第24回大会論文集, 152-153.	
	学会発表	基準率錯誤と課題の等確率性	西田豊・服部雅史	2007年9月18日	日本心理学会第71回大会論文集, 841.	

34	指導教員	足立 浩平	副指導教員	狩野 裕		
	氏名	山本 倫生	研究室名	行動データ科学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	An Oblique Factor Rotation Technique with Clustering of Variables	山本倫生・宮本友介・足立浩平	2007年7月	the 2007 International Meeting of the Psychometric Society abstracts	
	学会発表	変数のクラスタリングを伴う斜交因子回転法	山本倫生・宮本友介	2007年9月2日	日本行動計量学会第35回大会発表論文抄録集	
	学会発表	平滑化を伴うPARAFACモデルの比較	山本倫生・足立浩平	2007年9月	2007年度統計関連学会連合大会講演報告集	



35	指導教員	熊倉 博雄	副指導教員	中野 良彦		
	氏名	日暮 泰男	研究室名	行動形態学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	書字動作の三次元運動解析	日暮泰男・熊倉博雄・安永雅博・丸山	2007年7月1日	人類動態学会会報 86, 20.	
	学会発表	ニホンザルの樹上ロコモーションに関する実験的研究:ギャップ幅の変化	日暮泰男・平崎鋭矢・熊倉博雄	2007年7月15日	霊長類研究 23(増補版), S-9.	
	学会発表	水平梯子でのロコモーションにおけるニホンザルの後肢の接地	日暮泰男・平崎鋭矢・熊倉博雄	2007年10月8日	第61回日本人類学会大会論文集 64.	

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2007.10.9	日暮 泰男	2007年度国際学術研究助成	日本霊長類学会

36	指導教員	中村 敏枝	副指導教員	臼井 伸之介		
	氏名	安田 晶子	研究室名	感性情報心理学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	音楽聴取による感動の心理学的研究-聴取者の情動との関係(2)-	安田晶子・中村敏枝・河瀬諭・片平建史・小幡哲史・谷口智子・正田悠	2007年5月1日	日本認知心理学会第5回大会発表論文集 26.	
	学会発表	音楽聴取による感動の心理学的研究-演奏音の部分と全体に対する情動評定の関係-	安田晶子・中村敏枝・Draguna Raluca Maria・河瀬諭・片平建史・谷口智子	2007年9月6日	ヒューマンインタフェースシンポジウム2007論文集 1117-1120.	
	学会発表	音楽聴取による感動の心理学的研究-聴取者の身体反応および情動との関係-	安田晶子・中村敏枝・河瀬諭・片平建史・小幡哲史・谷口	2007年9月20日	日本心理学会第71回大会発表論文集 716.	
	学会発表	Psychological Study of Strong Experiences in Listening to Music: A Relationship between Partial and Overall Evaluations of Physical Reactions	Shoko Yasuda, Toshie Nakamura, Maria Raluca Draguna, Satoshi Kawase, Kenji Katahira, Haruka Shoda	2007年12月6日	International Conference on Music Communication Science (ICOMCS) 184-187.	○
	学会発表	音楽演奏場面において用いられる視覚的手がかり	河瀬諭・中村敏枝・片平建史・安田晶子・小幡哲史・谷口智子・正田悠	2007年5月1日	日本認知心理学会第5回大会発表論文集 25.	
	学会発表	音楽演奏場面におけるコミュニケーションのために用いられる非言語情報	河瀬諭・中村敏枝・Maria Raluca Draguna・片平建史・安田晶子・谷口智子・川上愛	2007年9月6日	ヒューマンインタフェースシンポジウム2007論文集 1113-1116.	
	学会発表	ライブ演奏における演奏者間の視線行動に関する研究	河瀬諭・中村敏枝・片平建史・安田晶子・川上愛・小幡哲史・谷口智子	2007年9月20日	日本心理学会第71回大会発表論文集 982.	
	学会発表	Communication channels performers and listeners use: a survey study	Satoshi Kawase, Toshie Nakamura, Maria Raluca Draguna, Kenji Katahira, Shoko Yasuda, Haruka Shoda	2007年12月6日	International Conference on Music Communication Science (ICOMCS) 76-79.	○
	学会発表	2者の合奏における身体動作の役割-時間的調整における身体動作の重要性についての検討-	片平建史・中村敏枝・河瀬諭・安田晶子・小幡哲史・谷口智子・正田悠	2007年5月1日	日本認知心理学会第5回大会発表論文集 24.	
	学会発表	演奏者の身体動作が打叩の同期に及ぼす影響	片平建史・中村敏枝・河瀬諭・安田晶子・小幡哲史・谷口	2007年9月20日	日本心理学会第71回大会発表論文集 729.	
	研究会発表	音楽行動における動きと身体 ~ 共演者間の身体動作による調整に注目して~	片平建史・中村敏枝・河瀬諭・安田晶子・谷口智子	2007年9月29日	第3回音楽とウェルネスの学際的融合研究会 11-16.	
	学会発表	The Role of Body Movement in Co-Performers' Temporal coordination	Kenji Katahira, Toshie Nakamura, Satoshi Kawase, Shoko Yasuda, Haruka Shoda, Maria Raluca Draguna	2007年12月6日	International Conference on Music Communication Science (ICOMCS) 72-75.	○

学会発表	バイオリン奏者が演奏中に使用する呼吸情報に関する実験的研究	小幡哲史・中村敏枝・河瀬諭・片平建史・安田晶子・谷口智子・正田悠	2007年5月1日	日本認知心理学会第5回大会発表論文集 27.
学会発表	演奏者間において用いられる視線情報について—2人のバイオリン奏者の合奏を対象とした実験的研究	小幡哲史・中村敏枝・河瀬諭・片平建史・安田晶子・谷口智子・正田悠	2007年9月20日	日本心理学会第71回大会発表論文集 712.
学会発表	ピアノアンサンブルにおける演奏者間の非言語コミュニケーション	谷口智子・中村敏枝・河瀬諭・片平建史・安田晶子・小幡哲史・正田悠	2007年5月1日	日本認知心理学会第5回大会発表論文集 75.
学会発表	ピアノアンサンブルにおける演奏者間の非言語コミュニケーション—演奏者の呼吸の測定—	谷口智子・中村敏枝・河瀬諭・片平建史・安田晶子	2007年9月6日	ヒューマンインタフェースシンポジウム2007論文集 749-752.
学会発表	ピアノアンサンブルにおける演奏者間の非言語コミュニケーション—演奏音の音響特性の測定—	谷口智子・中村敏枝・河瀬諭・片平建史・安田晶子・小幡哲史・正田悠	2007年9月20日	日本心理学会第71回大会発表論文集 715.
学会発表	ピアノ演奏者の表現の違いによる聴取者の印象評定の変化	正田悠・中村敏枝・河瀬諭・片平建史・安田晶子・小幡哲史・谷口智子	2007年5月1日	日本認知心理学会第5回大会発表論文集 71.
学会発表	Effects of a pianist's body movements on listeners' impressions	Haruka Shoda, Toshie Nakamura, Maria Raluca Draguna, Satoshi Kawase, Kenji Katahira, Shoko Yasuda	2007年12月6日	International Conference on Music Communication Science (ICOMCS) 143-146.

○

37	指導教員	副指導教員	臼井 伸之介		
氏名	谷口 智子	研究室名	感性情報心理学	学年	MC 2 年次
論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
学会発表	ピアノアンサンブルにおける演奏者間の非言語コミュニケーション	谷口智子・中村敏枝・河瀬諭・片平建史・安田晶子・小幡哲史・正田悠	2007年5月1日	日本認知心理学会第5回大会発表論文集 p.75	
学会発表	音楽演奏場面において用いられる視覚的手がかり	河瀬諭・中村敏枝・片平建史・安田晶子・小幡哲史・谷口智子・正田悠	2007年5月1日	日本認知心理学会第5回大会発表論文集 p.25	
学会発表	2者の合奏における身体動作の役割—時間的調整における身体動作の重要性についての検討—	片平建史・中村敏枝・河瀬諭・安田晶子・小幡哲史・谷口智子・正田悠	2007年5月1日	日本認知心理学会第5回大会発表論文集 p.24	
学会発表	音楽聴取による感動の心理学的研究—聴取者の情動との関係(2)—	安田晶子・中村敏枝・河瀬諭・片平建史・小幡哲史・谷口智子・正田悠	2007年5月1日	日本認知心理学会第5回大会発表論文集 p.26	
学会発表	バイオリン奏者が演奏中に使用する呼吸情報に関する実験的研究	小幡哲史・中村敏枝・河瀬諭・片平建史・安田晶子・谷口智子・正田悠	2007年5月1日	日本認知心理学会第5回大会発表論文集 p.27	
学会発表	ピアノ演奏者の表現の違いによる聴取者の印象評定の変化	正田悠・中村敏枝・河瀬諭・片平建史・安田晶子・小幡哲史・谷口智子	2007年5月1日	日本認知心理学会第5回大会発表論文集 p.71	
学会発表	ピアノアンサンブルにおける演奏者間の非言語コミュニケーション—演奏音の音響特性の測定—	谷口智子・中村敏枝・河瀬諭・片平建史・安田晶子・小幡哲史・正田悠	2007年7月1日	日本心理学会第71回大会発表論文集 p.715	
学会発表	ライブ演奏における演奏者間の視線行動に関する研究	河瀬諭, 中村敏枝, 片平建史, 安田晶子, 小幡哲史, 谷口智子	2007年7月1日	日本心理学会第71回大会発表論文集 p.982	
学会発表	演奏者の身体動作が打叩の同期に及ぼす影響	片平建史, 中村敏枝, 河瀬諭, 安田晶子, 小幡哲史, 谷口智子	2007年7月1日	日本心理学会第71回大会発表論文集 p.729	
学会発表	音楽聴取による感動の心理学的研究—聴取者の身体反応および情動との関係—	安田晶子, 中村敏枝, 河瀬諭, 片平建史, 小幡哲史, 谷口智子	2007年7月1日	日本心理学会第71回大会発表論文集 p.716	
学会発表	演奏者間において用いられる視線情報について—2人のバイオリン奏者の合奏を対象とした実験的研究—	小幡哲史・中村敏枝・河瀬諭・片平建史・安田晶子・谷口智子	2007年7月1日	日本心理学会第71回大会発表論文集 p.712	

学会発表	ピアノアンサンブルにおける演奏者間の非言語コミュニケーションー演奏音の呼吸の測定ー	谷口智子・中村敏枝・河瀬諭・片平建史・安田晶子	2007年9月3日	ヒューマンインタフェースシンポジウム2007論文集 749-752
学会発表	音楽演奏場面におけるコミュニケーションのために用いられる非言語情報	河瀬諭・中村敏枝・Maria Raluca Draguna・片平建史・安田晶子・谷口智子	2007年9月3日	ヒューマンインタフェースシンポジウム2007論文集 1113-1116
学会発表	音楽聴取による感動の心理学的研究ー演奏音の部分と全体に対する評価の関係ー	安田晶子・中村敏枝・Draguna Raluca Maria・河瀬諭・片平建史・谷口智子	2007年9月3日	ヒューマンインタフェースシンポジウム2007論文集 1117-1120
研究会発表	音楽行動における動きと身体ー共演者間の身体動作による調整に注目してー	片平建史・中村敏枝・河瀬諭・安田晶子・谷口智子	2007年9月29日	第3回音楽とウェルネスの学際的融合に関する研究会 11-16
学会発表	ピアノアンサンブルにおける演奏者間の非言語コミュニケーションー対面演奏条件・非対面演奏条件による演奏の相違ー	谷口智子・中村敏枝・岸田好生・森数馬	2007年12月1日	平成19年度日本人間工学会関西支部大会講演論文集 15-18
学会発表	ドラム音系列における間とテンポについて	岸田好生・中村敏枝・谷口智子・森数馬	2007年12月1日	平成19年度日本人間工学会関西支部大会講演論文集 19-22
学会発表	曲の印象形成における歌詞の影響について	森数馬・中村敏枝・谷口智子・岸田好生	2007年12月1日	平成19年度日本人間工学会関西支部大会講演論文集 23-26

38	指導教員	中村 敏枝	副指導教員	臼井 伸之介		
	氏名	岸田 好生	研究室名	感性情報心理学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	ドラム音系列における'間'とテンポについて	岸田好生・中村敏枝・谷口智子・森数馬	2007年12月1日	平成19年度日本人間工学会関西支部大会講演論文集,19-22	
	学会発表	ピアノアンサンブルにおける演奏者間の非言語コミュニケーションー対面演奏条件・非対面演奏条件による演奏の相違ー	谷口智子・中村敏枝・岸田好生・森数馬	2007年12月1日	平成19年度日本人間工学会関西支部大会講演論文集,15-18	
	学会発表	曲の印象形成における歌詞の影響について	森数馬・中村敏枝・谷口智子・岸田好生	2007年12月1日	平成19年度日本人間工学会関西支部大会講演論文集,23-26	

社会学・人間学系 在籍者 115名 回答者 47名 研究成果 有 31名 成果有の人数(%) 66%  
 回答者率 42% 無 16名

1	指導教員	厚東 洋輔	副指導教員	太郎丸 博		
	氏名	栢澤 健史	研究室名	社会学理論	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	大学・研究所等報告	若年の初職非正規雇用の地域分析	栢澤健史	2008年2月18日	太郎丸博編『社会階層と非正規雇用:2007年人間科学方法実習Ⅰ報告書』	
	大学・研究所等報告	若年層非正規雇用・無職の地域分析	栢澤健史	2008年(年度内予定)	科学研究費補助金 特別推進研究(16001001)「現代日本階層システムの構造と変動に関する総合的研究」成果報告	
	大学・研究所等報告	2007年SSM若年層インターネット調査の利用法について	太郎丸博・栢澤健史	2008年(年度内予定)	科学研究費補助金 特別推進研究(16001001)「現代日本階層システムの構造と変動に関する総合的研究」成果報告	

2	指導教員	友枝 敏雄	副指導教員	川端 亮		
	氏名	伊藤 麻沙子	研究室名	社会学理論	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	分担執筆	「高校生の規範意識」	竹内慶至・伊藤麻沙子	(印刷中)	『高校生の規範意識Ⅱ——保守化を中心として』5-20	
	単独執筆	「高校生のパーソナリティと社会的性格」	伊藤麻沙子	(印刷中)	『高校生の規範意識Ⅱ——保守化を中心として』39-60	
	学会発表	ある「村」の「近代化」過程——岩手県釜石市橋野町の事例研究	伊藤麻沙子	2007年5月26日	関西社会学会第58回大会要旨集	

3	指導教員	友枝 敏雄	副指導教員	太郎丸 博		
	氏名	松吉 淳也	研究室名	社会学理論	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	大学・研究所等報告	ジェンダー意識からみた高校生のライフコース展望	中村祥規・田中祥子・小林優子・松吉淳也	2008年2月18日	平成19年度ヒューマンサイエンスプロジェクト研究成果報告書『現代高校生の規範意識Ⅱ——保守化を中心として—』129-167.	

4	指導教員	太郎丸 博	副指導教員	牟田 和恵		
	氏名	井出 草平	研究室名	社会学理論	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	単著	ひきこもりの社会学	井出草平	2007年9月1日		
	学会発表	就労段階からの「ひきこもり」についての研究	井出草平	2007年11月17日	第80回 日本社会学会 一般研究報告	
	学術論文	社会学的問題としての「ひきこもり」～「ひきこもり」の社会学定義と「ひきこもり」を社会学が取り扱う意義について～	井出草平	2008年3月	『年報人間科学』大阪大学大学院人間科学研究科、29号(2)	

5	指導教員	太郎丸 博	副指導教員	友枝 敏雄		
	氏名	宮田 尚子	研究室名	社会学理論	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	職場への帰属意識と相談ネットワーク——組織適応期における相談ネットワークの型と密度	宮田 尚子	2007年5月26日	『第58回関西社会学会大会報告要旨集2007』, p18	
	学会発表	若者の相談ネットワークと就業形態——無業であることが「社会的孤立」を規定するのか	宮田尚子・太郎丸博	2007年9月15日	『第44回数理社会学会大会研究報告要旨集』Pp33-36	
	学会発表	生活圏と交友ネットワークの地理的広がり——神戸市東灘区若年調査より(1)	宮田 尚子	2007年11月17日	『第80回日本社会学会大会報告要旨集』, p250	
	大学・研究所等報告	若者の相談ネットワークと就業形態	宮田 尚子	2007年9月7日	太郎丸博編『社会階層と非正規雇用』大阪大学大学院人間科学研究科2007年人間科学方法実習 I 報告書, Pp61-76	
	大学・研究所等報告	高校生の校則に対する意識とその規定要因	宮田 尚子	2008年2月18日	友枝敏雄編『現代高校生の規範意識 II ——保守化を中心として』平成19年度ヒューマンサイエンスプロジェクト研究成果報告書, Pp169-	
	大学・研究所等報告	「20・30歳代の地域生活に関する調査」の標本の代表性	宮田尚子	2008年3月	平成16～19年度科学研究費補助金(課題番号B(1)16330112) 研究成果報告書(鶴飼孝造編『新しいコミュニティの構想——2007年東灘区若年層調査報告書』, 同志社大学(印刷中))	
	大学・研究所等報告	生活圏と交友ネットワークの地理的広がり	宮田尚子	2008年3月	平成16～19年度科学研究費補助金(課題番号B(1)16330112) 研究成果報告書(鶴飼孝造編『新しいコミュニティの構想——2007年東灘区若年層調査報告書』, 同志社大学(印刷中))	

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2007.6	宮田 尚子	第58回関西社会学会大会優秀報告賞	関西社会学会

6	指導教員	太郎丸 博	副指導教員	友枝 敏雄		
	氏名	平尾 一朗	研究室名	社会学理論	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	大学・研究所等報告	若年層のどのような人が正規から非正規になりやすいか——出身階層を中心に	平尾 一朗	2007年9月7日	社会階層と非正規雇用(大阪大学大学院人間科学研究科2007年人間科学方法実習I 報告書), 77-92.	
	学会発表	女性と男性の世代間移動——Association Model を用いて	平尾一朗・太郎丸博	2007年9月15日	数理社会学会第44回大会	

7	指導教員	川端 亮	副指導教員	吉川 徹		
	氏名	永吉 希久子	研究室名	先進経験社会学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	日本人のマイノリティ文化保護に対する意識	永吉希久子	2007年5月27日	第58回関西社会学会	
	学会発表	排外意識に対する接触と脅威認知の効果——JGSS2003の分析から	永吉希久子	2007年6月30日	JGSS研究発表会2007	
	大学・研究所報告等	就労形態が不公平感に与える影響	永吉希久子	2007年9月7日	太郎丸博編, 大阪大学大学院人間科学研究科 2007年人間科学方法実習 I 成果報告書, 太郎丸博	
	学術論文	排外意識に対する接触と脅威認知の効果——JGSS2003の分析から	永吉希久子	2008年3月31日	JGSS研究論文集7(印刷中)	○

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2007.6	永吉希久子	JGSS公募論文2007優秀論文	JGSSプロジェクト

8	指導教員	川端 亮	副指導教員	吉川 徹		
	氏名	乾 順子	研究室名	先進経験社会学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	大学・研究所等報告	就業形態と生活満足感	乾順子	2007年9月7日	太郎丸博編 社会階層と非正規雇用 大阪大学大学院人間科学研究科2007年 人間科学方法実習 I 報告書, 105-115	
	書評	「Sex Segregation and Inequality in the Modern Labour Market」 by Jude Browne	乾順子	印刷中	年報人間科学第29号 2008 大阪大学人間科学研究科	○

9	指導教員	吉川 徹	副指導教員	川端 亮		
	氏名	藤原 翔	研究室名	社会データ科学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	大学・研究所等報告	父不在・無職からの移動と非正規雇用への移動	藤原翔	2007年9月7日	太郎丸博編 社会階層と非正規雇用, 13-30	
	学会発表	進路の一貫性と非一貫性—高校3年間の進路変容過程に関する縦断的研究(2)—	中村高康・岩田考・藤原翔・越智政治・西田亜希子・片山悠樹・金子嘉秀・鶴飼	2007年9月22日	日本教育社会学会第59回大会	
	学会発表	現代高校生とその母親の教育アスピレーション—Interdependence Model を用いた親子同時分析—	藤原翔	2008年3月17日	第45回数理社会学会大会	

10	指導教員	吉川 徹	副指導教員	川端 亮		
	氏名	杉本 泰聖	研究室名	社会データ科学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	大学・研究所等報告	雇用形態の規定構造に関する日韓比較	杉本 泰聖	2007年9月7日	太郎丸博編, 社会階層と非正規雇用, 43-50.	○
	学会発表	雇用形態の規定構造に関する日韓比較	杉本 泰聖・太郎丸博	2007年9月16日	第44回数理社会学大会研究報告要旨集, 39-40(要旨収録).	○

11	指導教員	牟田 和恵	副指導教員	太郎丸 博		
	氏名	藤田 嘉代子	研究室名	コミュニケーション社会学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	大学・研究所等報告	子育て家族における家事・育児の実態・分担・感情に関する実証的研究	藤田嘉代子	2007年4月1日	平成18年度大阪府ジャンプ事業補助金を受けた事業報告書 大阪府に提出	

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2008.1	藤田嘉代子	女性研究者支援対象者に選ばれる	住友生命「未来を築く子育てプロジェクト」

12	指導教員	牟田 和恵	副指導教員	辻 大介		
	氏名	稲見 直子	研究室名	コミュニケーション社会学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	シニアコレクティブハウジングの可能性—ひょうご復興コレクティブハウジング居住実践における「協同性」を手がかりに—	稲見 直子	2007年9月8日	日本家族社会学会第17回大会	

13	指導教員	牟田 和恵	副指導教員	辻 大介		
	氏名	藤田 智博	研究室名	コミュニケーション社会学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	ジェームズ・クリフォードの「旅する文化」とトランスナショナル・フェミニズム—異種混淆論からポストモダニティの分析へ—	藤田智博	2007年5月26日発行	関西社会学会『フォーラム現代社会学』6:105-112	○
	学会発表	批判人類学における移動論の射程—イスラエル人露天商を事例とした試論—	藤田智博	2007年11月17日	第80回日本社会学会大会	

14	指導教員	牟田 和恵	副指導教員	辻 大介		
	氏名	久保田 裕之	研究室名	コミュニケーション社会学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	家族社会学は家族／非家族境界を問えるか—構築主義的家族研究の再検討—	久保田裕之	2007年9月8日	日本家族社会学会第17回大会 テーマセッション「家族／非家族をめぐって—つながりの根拠を問う	

15	指導教員	牟田 和恵	副指導教員	辻 大介		
	氏名	中川 祥一	研究室名	コミュニケーション社会学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	ネット中毒は孤独感を誘起するか	中川祥一	印刷中	『年報人間科学』 29	○

16	指導教員	牟田 和恵	副指導教員	辻 大介		
	氏名	KIM VIKTORIYA	研究室名	コミュニケーション社会学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	書評論文	国際結婚における経済的依存—ロシア人女性とアメリカ人男性の結婚を一例として Lynn Visson, <i>Wedded Strangers: The Challenges of Russian-American Marriages</i> , 2001, Hippocrene Books (New York)	キム・ヴィクトリヤ	2008年3月31日	年報人間科学, No 29, Vol.2	

17	指導教員	山中 浩司	副指導教員	吉川 徹		
	氏名	竹田 恵子	研究室名	文化社会学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	生殖技術利用者のリスク認知	竹田恵子	2007年7月23日	保健医療社会学論集, 18, 1, 38-50.	○
	学会発表	ART利用に関する抵抗感	竹田恵子	2007年10月25日	第52回日本生殖医学会学術講演会	
	学会発表	ART提供医療専門職のジレンマ	竹田恵子	2007年11月10日	科学技術社会論学会第6回年次研究大会	
	学会発表	ART提供医療専門職のジレンマ	竹田恵子	2007年11月18日	第80回日本社会学会大会	

18	指導教員	山中 浩司	副指導教員	牟田 和恵		
	氏名	竹内 慶至	研究室名	文化社会学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	ホスピス・緩和ケア病棟におけるケア実践—ケアのコーディネイトと患者中心主義—	竹内 慶至	2007年5月26日	関西社会学会大会報告要旨集2007 64.	
	大学・研究所等報告	高校生の規範意識	竹内 慶至・伊藤麻沙子	2008年2月18日	友枝敏雄編『現代高校生の規範意識Ⅱ—平成19年度ヒューマンサイエンスプロジェクト研究成果報告書』5-20.	
	大学・研究所等報告	高校生の友人関係	竹内 慶至	2008年2月18日	友枝敏雄編『現代高校生の規範意識Ⅱ—平成19年度ヒューマンサイエンスプロジェクト研究成果報告書』21-37.	

19	指導教員	峯 陽一	副指導教員	山中 浩司		
	氏名	鈴木 啓史	研究室名	グローバル社会と文化	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	分担執筆	『経済学と進化の思想: 史的展開』ナカニシ屋書店	八木紀一郎編・鈴木啓史他	2008年度中刊行予定	[Ⅱ]19世紀における経済学の転換 6. マルクス／鈴木啓史執筆、校正中	

20	指導教員	中山 康雄	副指導教員	檜垣 立哉		
	氏名	池吉 琢磨	研究室名	論理科学・科学基礎論	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	アスペクト盲にアナロジーはできるのか?	池吉琢磨	2007年5月20日	日本哲学会第66回大会一般研究発表予稿集 45-47.	○
	学会発表	概念プラグマティズムをめぐって	池吉琢磨	2007年11月10日	日本科学哲学会第40回(2007年度)大会シンポジウム・研究発表要旨 20.	

21	指導教員	中山 康夫	副指導教員	檜垣 立哉		
	氏名	福田 佑二	研究室名	論理科学・科学基礎論	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	書評	認識論における知識と真理の地位	福田 佑二	2008年3月1日	年報人間科学 29号(2008年)	

22	指導教員	中山 康雄	副指導教員	檜垣 立哉		
	氏名	本山 明日香	研究室名	論理科学・科学基礎論	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	固定性はいかにして有用か—クリプキ流本質主義にまつわる一つの問題—	本山明日香	2007年11月10日	日本科学哲学会第40回大会	
	書評	「言語哲学にとっての生物学」 Joseph LaPorte, <i>Natural Kinds and Conceptual Change</i>	本山明日香	2007年3月予定	年報人間科学29号(印刷中)	

23	指導教員	檜垣 立哉	副指導教員	中山 康雄		
	氏名	佐古 仁志	研究室名	基礎人間学・現代記号学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	大学・研究所等報告	アフォーダンスの構造	佐古仁志	2008年3月31日	年報人間科学, 29 (印刷中)	○

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2007.12	佐古仁志	2007年度研究プロジェクト	日本記号学会

24	指導教員	檜垣 立哉	副指導教員	中山 康雄		
	氏名	山森 裕毅	研究室名	基礎人間学・現代記号学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	ドゥルーズの動的発生論における出来事と身体	山森 裕毅	2008年3月31日	大阪大学人間科学研究科 年報人間科学 29(印刷中)	
	学会発表	アントナン・アルトーにおける有機体の問題	山森 裕毅	2008年3月22日	日仏哲学会	
	研究会発表	メルロ＝ポンティの色彩とユクスキュルのトーンの関係	山森 裕毅	H20.2.16	現在思想の会	

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2007.12	山森 裕毅、松本明子、森 元斎	2007年度日本記号学会研究プロジェクト助成	日本記号学会

25	指導教員	檜垣 立哉	副指導教員	中山 康雄		
	氏名	小林 卓也	研究室名	基礎人間学・現代記号学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	ドゥルーズにおける構造主義再考	小林卓也	2008年	大阪大学『人間科学年報』(印刷中)	
	学会発表	ドゥルーズにおける構造主義再考	小林卓也	2007年9月8日	平成19年度日仏哲学会一般発表	

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2007.12	小林卓也	2007年度日本記号学会研究プロジェクト助成	日本記号学会

26	指導教員	檜垣 立哉	副指導教員	Schwentker Wolfgang		
	氏名	笹本 大祐	研究室名	基礎人間学・現代記号学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	大学・研究所等報告	The Springboard How Storytelling Ignites Action in Knowledge-Era Organizations Stephen Denning(書評)	大阪大学大学院人間科学研究科社会学・人間学・人類学研究室	2008年	年報人間科学, 第29号(印刷中)	

27	指導教員	檜垣 立哉	副指導教員	中山 康雄		
	氏名	木村 淳	研究室名	基礎人間学・現代記号学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	書評	Frédéric Worms Bergson ou les deux sens de la vie	木村淳	印刷中	年報人間科学第29号	○

28	指導教員	檜垣 立哉	副指導教員	中山 康雄		
	氏名	橘 真一	研究室名	基礎人間学・現代記号学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	書評	Keith Ansell Peason "Germinal Life : The Difference and Repetition of Deleuze " 1999 , Routledge	橘 真一	2008年3月27日	『年報人間科学』第29号 大阪大学大学院人間科学研究科 (印刷中)	

29	指導教員	檜垣 立哉	副指導教員	中山 康雄		
	氏名	森 元斎	研究室名	基礎人間学・現代記号学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	書評論文	Bertrand Saint-Sernin, Whitehead Un univers en essay, Vrin,2000	森元斎	印刷中	年報人間科学29号	

30	指導教員	Schwentker Wolfgang	副指導教員	檜垣 立哉		
	氏名	寺田 晋	研究室名	文明動態学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	大学・研究所等報告	活動写真と群衆——戦前日本におけるコミュニケーションの制度化	寺田 晋	2008年3月1日	科学研究費萌芽研究「美術史の構築と脱構築」主催、若手研究者によるフォーラム、第二回、「イメージ(論)の臨界:ミュツスとロゴスの間」	



31	指導教員	小泉 潤二	副指導教員	栗本 英世		
	氏名	登 久希子	研究室名	人類学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	研究会発表	「オルタナティブ・スペース」の実践にみる「アート」と「場所」	登 久希子	2007年10月19日	第15回ミュージアムデザイン研究会	○
	学術論文	「オルタナティブ・スペース」の人類学的考察—ニューヨーク、フランクリン・ファーンイスの軌跡」	登 久希子	2008年3	大阪大学大学院人間科学研究科紀要(印刷中)	

教育学系 在籍者 130名 回答者 70名 研究成果 有 39名 成果有の人数(%) 56%  
 回答者率 54% 無 31名

1	指導教員	藤川 信夫	副指導教員	木村 涼子		
	氏名	渋谷 亮	研究室名	教育人間学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	「何が教育を可能にしてきたのか？」(コロキウム)	岡部美香、谷村千絵、森岡次郎、久保田健一郎、渋谷亮、国崎大恩	2007年9月16日	教育思想史学会第17回大会	○
	学術論文	「幼児のセクシュアリティと自体愛」	渋谷亮	2008年3月31日	『大阪大学教育学年報』13号	

2	指導教員	藤川 信夫	副指導教員	志水 宏吉		
	氏名	國崎 大恩	研究室名	教育人間学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	何が教育を可能にしてきたか？	岡部美香・久保田健一郎・谷村千絵・森岡次郎・渋谷亮・國崎大恩	2007年9月16日	教育思想史学会第17回大会 コロキウム	
	学会発表	デューイ思想とエロティシズム～「成長」を駆動させる《否定性》～	國崎 大恩	2007年10月21日	日本デューイ学会第51回研究大会	

3	指導教員	前迫 孝憲	副指導教員	篠原 一光		
	氏名	伊丹 君和	研究室名	教育工学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	大学・研究所等報告	その人らしさへとつながる足浴の工夫とその効果	伊丹君和、池崎潤子、久留島美紀子、本田可奈子	2007年12月1日	臨床看護12月号, 2180-2184	
	大学・研究所等報告	看護者の腰痛予防のためのボディメカニクス研究	伊丹君和	2008年3月31日	大阪大学教育学年報, No13,3-14(印刷中).	
	大学・研究所等報告	『未来看護塾』の活動とその効果の検討ー参加学生への教育効果および地域貢献への期待ー	伊丹君和、鈴木絵夢、高見紀江、他	2008年3月31日	人間看護学研究, No6,49-61(印刷中).	
	大学・研究所等報告	『教員・学生交流型出席カード』を活用した学習支援の試み	伊丹君和、久留島美紀子	2008年3月31日	人間看護学研究, No6,97-101(印刷中).	
	大学・研究所等報告	LANを活用した教材提示による学習支援	久留島美紀子、伊丹君和	2008年3月31日	人間看護学研究, No6(印刷中).	
	学会発表	学生の自己学習を支援する生活行動看護論演習の試み 第1報ー教員・学生交流型出席カードの導入	伊丹君和、久留島美紀子	2007年8月10日	看護学教育学会第17回学術集会講演集, 136	
	学会発表	学生の自己学習を支援する生活行動看護論演習の試み 第2報ー演習室内LANの活用ー	久留島美紀子、伊丹君和	2007年8月10日	看護学教育学会第17回学術集会講演集, 136	
	学会発表	ボディメカニクス活用動作に関する教育用自己チェックシステムの試作(第2報)	伊丹君和、安田寿彦、石橋宗篤、前迫孝憲	2007年9月22日	日本教育工学会第23回全国大会講演論文集, 465-466	
	学会発表	自立支援移乗介助ロボットー第4報: 複合動作の検討ー	安田寿彦、辻幹洋、林琢磨、田中勝之、伊丹君和、他	2007年9月9日	日本機械学会2007年度大会講演論文集, 69-70	
	学会発表	看護者のボディメカニクス学習支援システムの試作	安田寿彦、石橋宗篤、伊丹君和、他	2007年10月1日	日本機械学会福祉工学シンポジウム2007講演論文集, 189-192	

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2007.12.1	安田寿彦、伊丹君和、他	移乗介護ロボットの紹介	NHK滋賀 TV 「おうみ発610」

4	指導教員	前迫 孝憲	副指導教員	内海 成治		
	氏名	中野 由章	研究室名	教育工学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	「新・試作教科書」の全体構成と水準について	久野靖・中野由章・並木美太郎	2007年7月	情報処理学会研究報告 Vol.2007, No.69 pp.15-18	
	学術論文	高校教科「情報」の内容とその現状	中野由章	2007年8月	日本オペレーションズ・リサーチ学会誌 第52巻 第8号 pp.450-455	○
	学術論文	Moodleを利用した論文査読システムの試み	辰己丈夫・中野由章・奥村晴彦	2007年10月	情報処理学会研究報告 Vol.2007, No.101 pp.95-102	
	学術論文	初等中等教育における情報教育	中野由章	2007年11月	情報処理学会誌 第48巻 第11号 pp.1181-1185	○
	学術論文	Content and current status of subject "Informatics" of high schools in Japan	中野由章	2008年1月	3rd International Conference ISSEP - INFORMATICS in SECONDARY SCHOOLS EVOLUTION and PERSPECTIVES Informatics Education (投稿中)	○

5	指導教員	前迫 孝憲	副指導教員	老松 克博		
	氏名	奥林 泰一郎	研究室名	教育工学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	木を題材とした遠隔交流学習－日米Tree Watch Projectを事例として－	奥林泰一郎・中澤明子・Spence Zaorski・前迫孝憲	2007年9月22日	日本教育工学会第23回全国大会講演論文集 403-404.	
	学会発表	遠隔映像協調環境に関する一検討－日米間の実践から－	中澤明子・奥林泰一郎・ゼオースキスペンス・前迫孝憲	2007年9月22日	日本教育工学会第23回全国大会講演論文集 399-400.	
	学会発表	Development of Nutrition Education Curriculum for International Exchange Learning between Japanese and Thai School Children by using HyperMirror, a New Videoconferencing System	Yuko S. Yoshimoto・Ako Imai・Shimako Muto・ Junko Fujikura・Hiromi Ikeda・Takanori Maesako・Akiko Nakazawa・Taiichiro Okubayashi・Osamu Morikawa・Surasak Boonyaritichaij	2007年11月25日	The 39th Conference of Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health 176.	
	学会発表	国際交流学習実践の準備段階におけるコミュニケーションの分析	奥林泰一郎・中澤明子・スペンス ゼオースキ・前迫孝憲	2008年3月1日	日本教育工学会研究報告集	

6	指導教員	前迫 孝憲	副指導教員	中谷 素之		
	氏名	佐野 彰	研究室名	教育工学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	著書	はじめてのJahshaka	佐野彰	2007年8月22日	工学社	
	学会発表	サステナビリティのあるWebサイトには何が必要か	佐野彰	2007年9月24日	日本教育工学会 第23回全国大会	
	学会発表	What is Important For Sustaining An Organization Website?	佐野彰	2007年10月6日	International Student Conference at Ibaraki University 3 Committees	○
	大学・研究所報告	CSCWを促進する要因とは？－DSPSモデルによる考察－The DSPS model and factors that facilitate CSCW activity	佐野彰	印刷中	大阪大学大学院人間科学研究科教育学年報	○

<その他:新聞記事など>

年月	氏名	内容	掲載紙誌名
2007年3月	佐野彰 & Shinji Kanki	Composition1960 #5 by La Monte Young	OverWholyRoly, GeeWee / Cage, Post Cage and Beyond
2008年2月	佐野彰	動画編集ソフトNIVEIについての解説記事	工学社 月刊I/O 3月号

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2007年10月	佐野彰	Best Presentation Award	International Student Conference at Ibaraki University 3 Committees

7	指導教員	前迫 孝憲	副指導教員	中谷 素之		
	氏名	谷口 るり子	研究室名	教育工学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	大学・研究所等報告	情報共有基盤NetCommonsを用いた教育情報共有の試み	新井紀子・谷口るり子	2007年6月	国立情報学研究所平成18年度共同研究成果概要, 191-193	
	学会発表	情報共有による協調的プログラミング学習の試み	谷口るり子	2007年7月7日	平成19年度全国大学IT活用教育方法研究発表会予稿集, 80-81	
	学会発表	Webを用いた学習支援方法の利用率と試験の点数による比較	谷口るり子	2007年9月12日	教育システム情報学会第32回全国大会講演論文集, 60-61	

8	指導教員	前迫 孝憲	副指導教員	平沢 安政		
	氏名	辻岡 圭子	研究室名	教育工学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	分担執筆	超鏡 (HyperMirror) を活用した第二言語学習ー協調学習による異文化間コミュニケーション能力向上への取り組み	辻岡圭子・前迫孝憲・森川治	2007/4/	「超鏡」と国際TVを活用する遠隔交流学習支援システムの開発 (課題番号:15200056) 平成15年度~18年度科学研究費補助金 基盤研究(A)(2) 研究成果報告書 平成19年3月, 77-96	
	学会発表	遠隔講義による異文化理解教育の事例	辻岡圭子	2007年6月3日	異文化間教育学会第28回大会、( )	
	国際学会発表	Collaborative Second Language Learning in Joint Attention with Three Combined Images from Distance Places	辻岡圭子・前迫孝憲・森川治	2007年6月27日	Proceedings of World Conference on Educational Multimedia, Hypermedia and Telecommunications 2007 (pp. 1947-1953). Chesapeake, VA:	○
	学会発表	ディスプレイ表示における回答反応時間の測定	辻岡圭子・辻岡光宏・前迫孝憲	2007年9月22日	教育工学会第23回全国大会、227-228	

9	指導教員	前迫 孝憲	副指導教員	志村 剛		
	氏名	岡本 尚子	研究室名	教育工学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	計算遂行時の前頭前野におけるヘモグロビン濃度変化の特徴	岡本尚子・黒田恭史	2008年	数学教育学会誌Vol.49.No.1・2:(印刷中)	○
	学術論文	年齢層別にみるブレンディッド型大学通信教育の実践と評価	黒田恭史・岡本尚子・西之園晴夫	2008年2月10日	日本教育工学会論文誌 Vol.31,Suppl. :113-116	○
	学会発表	授業場を想定した学習時における脳内生体情報の取得に向けて	岡本尚子・黒田恭史	2007年6月16日	数学教育学会夏季研究会発表論文集:5-8	
	学会発表	今後に求められる算数・数学の「学力」についてー学力調査・実態調査をもとにしてー	黒田恭史・岡本尚子	2007年6月16日	数学教育学会夏季研究会発表論文集:9-12	
	学会発表	図形課題遂行時における助言がもたらす脳活動の特徴	岡本尚子・黒田恭史	2007年9月22日	第11回数学教育学会大学院生部会発表論文集:5-10	
	学会発表	社会的要請に応じるe-Learningを用いた高等教育	黒田恭史・岡本尚子・西之園晴夫	2007年9月22日	日本教育工学会第22回全国大会講演論文集:119-122	○
	学会発表	同一問題における解答場面と説明場面の差異がもたらす脳生理学的特徴	黒田恭史・岡本尚子	2007年11月10日	日本教育実践学会第10回研究会発表論文集:31-32	
	学会発表	NIRS evaluates the thinking process of Mushi-kuizan task	江田英雄・黒田恭史・岡本尚子・前迫	2008年1月19日	SPIE (The International Society for Optical Engineering)(印刷中)	○
	学会発表	ヒント提示の認識の差異がもたらす脳活動の特徴	岡本尚子・黒田恭史・前迫孝憲	2008年3月1日	日本教育工学会研究報告集 JSET08(印刷中)	
	学会発表	学びの継続を支援するe-Learningを用いた高等教育	黒田恭史・岡本尚子・西之園晴夫	2008年3月1日	日本教育工学会研究報告集 JSET08(印刷中)	
	学会発表	図形課題におけるヒントの役割と脳活動の特徴	岡本尚子・黒田恭史	2008年3月23日	数学教育学会春季年会発表論文集(印刷中)	
	学会発表	脳科学の数学教育への応用に関する研究動向と今後の方向性	黒田恭史・岡本尚子	2008年3月23日	数学教育学会春季年会発表論文集(印刷中)	
	大学・研究所等報告	解答場面と説明場面の差異がもたらす脳内ヘモグロビン濃度変化の特徴	黒田恭史・岡本尚子	2008年3月1日	佛教大学教育学部論集, 19:(印刷中)	
	大学・研究所等報告	学習時のヒント提示がもたらす脳内ヘモグロビン濃度変化の特徴	岡本尚子	2008年3月31日	大阪大学教育学年報Vol.13:(印刷中)	○

10	指導教員	前迫 孝憲	副指導教員	内海 成治		
	氏名	森 秀樹	研究室名	教育工学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	Cricket Workshop – An approach for social constructionist learning	Nobuyuki Ueda, Yoshiro Miyata, Ryoko Matsumoto, Hideki Mori	2007年5月30日	The International Conference of Play and Creativity	
	学会発表	大学生のワークショップデザイン実践プロジェクトにおける学びの考察	松本亮子・森秀樹・芳賀博英	2007年9月23日	日本教育工学会第23回全国大会論文集 613-614	
	学会発表	クリケットを使った90分ワークショップ	元原麻理・林美和・森秀樹・有賀妙子・上田信行	2007年10月20日	日本教育工学会研究報告集 デジタルメディアと授業デザイン 207-214	
	学会発表	クリケットを使ったワークショップ型授業のための教員支援	森秀樹	2007年10月20日	日本教育工学会研究報告集 デジタルメディアと授業デザイン 215-	

11	指導教員	前迫 孝憲	副指導教員	井村 修		
	氏名	張 海	研究室名	教育工学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	分担執筆	教学媒体理論	張海	2007年8月1日	王以寧編 教学媒体理論与实践 高等教育出版社	
	分担執筆	Instructional Technology: Distance Education and Online Learning	王敏娟・張海・Fred Saba	2008年3月1日	歐陽榮華編 西方教育技術学研究的前沿与發展 中国人民大学出版社(印刷中)	

12	指導教員	前迫 孝憲	副指導教員	木村 涼子		
	氏名	中澤 明子	研究室名	コミュニケーションメディア	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	遠隔映像協調環境に関する一検討～日米間の実践から～	中澤明子・奥林泰一郎・スペンス ゼオースキ・前迫孝憲	2007年9月22日	日本教育工学会第23回全国大会講演論文集 399-400.	
	学会発表	木を題材とした遠隔交流学習の現状と課題 ―日米Tree Watch Projectを事例として―	奥林泰一郎・中澤明子・Spence Zaorski・前迫孝憲	2007年9月22日	日本教育工学会第23回全国大会講演論文集 403-404.	
	研究報告	国際交流学習実践の準備段階におけるコミュニケーションの分析	奥林泰一郎・中澤明子・スペンス ゼオースキ・前迫孝憲	2008年3月1日	日本教育工学会研究報告集, Vol.8(1) (印刷中)	
	学会発表	Development of Nutrition Education Curriculum for International Exchange Learning between Japanese and Thai School Children by Using HypeMirror, a New Videoconferencing System	Yuko S. Yoshimoto, Ako Imai, Shimako Muto, Junko Fujikura, Hiromi Ikeda, Takanori Maesako, Akiko Nakazawa, Taiichiro Okubayashi, Osamu Morikawa, Surasak	2007年11月25日	The 39th Conference of Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health, p.176.	

13	指導教員	老松 克博	副指導教員	井村 修		
	氏名	志満 慈子	研究室名	臨床心理学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	大学・研究所等報告	行動化の激しい幼児とのプレイセラピー	志満慈子	2007年12月25日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要	

14	指導教員	老松 克博	副指導教員	井村 修		
	氏名	赤松 尚美	研究室名	臨床心理学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	大学・研究所等報告	母親として来談しはじめた女性との面接過程	赤松 尚美	2007年12月25日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要	

15	指導教員	老松 克博	副指導教員			
	氏名	金沢 晃	研究室名	臨床心理学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	観察という営みが母子の相互交流にもたらす作用について	金沢 晃	2007年12月31日	心理臨床学研究 25, 5, 528-538.	○

16	指導教員	老松 克博	副指導教員	井村 修		
	氏名	山本 典子	研究室名	臨床心理学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	大学・研究所等報告	広汎性発達障害と診断された小学生男児の母親との面接 ―子に問題を求めること―	山本典子	2007年12月25日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要, 13, 58-66	

17	指導教員	老松 克博	副指導教員	井村 修		
	氏名	菅生 聖子	研究室名	臨床心理学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	分担執筆	人工妊娠中絶が女性に与える心理的影響(仮)	編者 岡田康伸・倉光修・マーク海野 鍋島直樹	2008年7月出版予定	心理療法と仏教 ディープリスニングの試み(仮)	

18	指導教員	老松 克博	副指導教員	宮田 敬一		
	氏名	東井 申雄	研究室名	臨床心理学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	「のん気」だという中学生との面接過程	東井申雄	2007年12月25日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要13号、p111-121	
	学術論文	筋ジストロフィー患者と病棟看護師の語りにもみる病棟のニーズに関して	東井申雄・成田慶一・井口幸子・斉藤利雄・松村剛・神野進・井村修・藤村晴	2007年11月1日	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費筋ジストロフィーの療養と自立支援のシステム構築に関する研究平成19年度班会議抄録、p72	

19	指導教員	老松 克博	副指導教員	宮田 敬一		
	氏名	松本 拓真	研究室名	臨床心理学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	大学・研究所等報告	“なにか”と戦わなくてはならない男児とのプレイセラピー	松本 拓真	2007年12月25日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要 13 79-86	

20	指導教員	井村 修	副指導教員	宮田 敬一		
	氏名	村田 直子	研究室名	臨床心理学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	紀要論文	恋愛関係に悩み、来談した女性との面接過程～自らの実感を求めて	村田直子	2007年12月25日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要	

21	指導教員	井村 修	副指導教員	老松 克博		
	氏名	山本 真莉	研究室名	臨床心理学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	筋ジストロフィー患者への心理的援助をめぐる諸問題②	山本真莉・東井申雄・西川佳織・井村	2007年9月27日	日本心理臨床学会26会大会 自主シンポジウム	
	分担執筆	筋ジストロフィーの療養をめぐる臨床心理学的援助の研究(2)	中田果林・梁誠崇・成田慶一・西川佳織・原三恵・東井申雄・山本真莉・高田紗英子・井村修	2007年12月25日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要13,p.168-177	
	学会発表	成人のデュシェンヌ型筋ジストロフィー患者の心理的課題と援助方法の検討	山本真莉	2007年12月6日	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費筋ジストロフィーの療養と自立支援のシステム構築に関する研究平成19年度班会議	

22	指導教員	宮田 敬一	副指導教員	老松 克博		
	氏名	草野 智洋	研究室名	臨床心理学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	社会的ひきこもり状態からの回復プロセス	草野智洋	2007年9月28日	日本心理臨床学会 第26回大会	
	分担執筆	大学生に見出されるひきこもりの精神医学的な実態把握と援助に関する研究	水田一郎・小林哲郎・石谷真一・安住伸子・草野智洋	2008年3月	平成19年度厚生労働科学研究(こころの健康科学研究事業)「地域精神保健活動における介入のあり方に関する研究」(主任研究者:齋藤万比古)研究報告書(印刷中)	

23	指導教員	宮田 敬一	副指導教員	老松 克博・井村 修		
	氏名	田中 るみ子	研究室名	臨床心理学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	虐待を受けた子ども心理教育的グループワーク	田中るみ子	2007年9月28日	日本心理臨床学会第26回大会発表論文集 411	
	大学・研究所等報告	児童養護施設に入所している女児とのプレイセラピー―「天国を求め続ける少女―	田中るみ子	2007年12月25日	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要.13.100-108	

24	指導教員	宮田 敬一	副指導教員	井村 修		
	氏名	中島 園美	研究室名	臨床心理学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	紀要	“家”のファンジーを共有するまで	中島園美	2007年12月25日	大阪大学大学院人間科学研究科心理相談室紀要第13号	

25	指導教員	中村 高康	副指導教員	近藤 博之		
	氏名	西田 亜希子	研究室名	教育社会学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	進路希望の一貫性と非一貫性— 高校3年間の進路変容過程に関する 継時的研究(2)	中村高康・岩田考・ 藤原翔・越智政治・ 西田亜希子・片山悠 樹ほか	2007年9月22日	日本教育社会学会第59回大会	

26	指導教員	中村 高康	副指導教員	近藤 博之		
	氏名	石田 香保里	研究室名	教育社会学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	新規大卒者の就職活動における情 報技術の諸問題	石田香保里			○

27	指導教員	小野田 正利	副指導教員	志水 宏吉		
	氏名	岸本 智恵美	研究室名	教育制度学	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	分担執筆	希望の持てる教育現場を模索し て!	岸本智恵美	2008年1月13日	大阪大学人間科学研究室・教育制 度学研究室編 こどものために手を つなぐ3～学校へのイチャモン(無 理難題要求)のウラにあるもの～、 博進印刷株式会社 pp 24-25.	

28	指導教員	小野田 正利	副指導教員	志水 宏吉		
	氏名	中川 覚敬	研究室名	教育制度学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	分担執筆	現場を離れて見えてきたもの	中川覚敬	2008年1月13日	大阪大学人間科学研究室・教育制 度学研究室編 こどものために手を つなぐ3～学校へのイチャモン(無 理難題要求)のウラにあるもの～、 博進印刷株式会社 pp 26-27	

29	指導教員	平沢 安政	副指導教員			
	氏名	今井 貴代子	研究室名	生涯教育学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	「移住プロセスからみた日本語学習 の諸相—中国帰国者2家族の事例 から」	今井貴代子	2007年10月1日	『中国帰国者定着促進センター紀 要』11号 109—130.	○
	学会発表	「中国帰国生徒の進学アスピレ ーションと進路選択過程—中学校お よび地域でのフィールドワークか	今井貴代子	2007年9月22日	日本教育社会学会第59回大会論文 集 13.	
	学会発表	「ニューカマー特別校の可能性 —高校3校の事例分析から」	志水宏吉・榎井縁・ 今井貴代子・石川朝 子・棚田洋平・比嘉 安則・奥村美保・山 本晃輔・館奈保子	2007年9月22日	日本教育社会学会第59回大会論文 集 26.	
	分担執筆	「児童期における学習課題と発達 資産」	今井貴代子	2007年4月1日	立田・岩槻編著『家庭、学校、社会 で育む発達資産』北大路書房	
	雑誌掲載	「ニューカマーの女の子たちが気づ くジェンダーの知」	今井貴代子	2007年10月1日	『ヒューマンライツ』10号、部落解放・ 人権研究所	

30	指導教員	平沢 安政	副指導教員	木村 涼子		
	氏名	北山 夕華	研究室名	生涯教育学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	Diversity and Shared Values: Education for Citizenship in England and Scotland'	KITAYAMA Yuka	2008年6月1日	大阪大学教育学年報第13号、大阪 大学人間科学研究科(印刷中)	○
	学術論文	イングランドの市民性教育の実践と その課題—低階層地域の学校の 事例が示唆するもの—	北山夕華	2008年7月1日	日英教育フォーラム第12号(印刷 中)	○
	学会発表	社会教育における学習機会への量 的アプローチ	福嶋順、片山悠樹、 棚田洋平、今井貴代 子、北山夕華、鳥越 ゆい子	2007年9月9日	日本社会教育学会第54回研究大会	

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2007.7	北山夕華	日英教育学会スカラシップ	日英教育学会

31	指導教員	平沢 安政	副指導教員	木村 涼子		
	氏名	松波 めぐみ	研究室名	生涯教育学	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	人権啓発の制度化に関する一考察	松波 めぐみ	2008年3月予定	教育学年報第十三号(印刷中)	
	学会発表	「人権啓発」の展開に関する一考察 －制度化過程と学習内容の変遷に 注目して－	松波 めぐみ	2007年9月1日	日本教育社会学会第61回大会論文 集	

<その他:新聞記事など>

	年月	氏名	内容	掲載紙誌名
	2007年9月	松波 めぐみ	障害をもつ女性への複合的な抑圧を考える	『ヒューマンライツ』
	2007年12月	松波 めぐみ	非障害女性として考える	『わたちの21世紀』
	2008年2月	松波 めぐみ	<連載・ジェンダーで考える教育の現在> 自分の 「立ち位置」を引き受ける －ある冷や汗体験 から－	『ヒューマンライツ』

32	指導教員	平沢 安政	副指導教員	木村 涼子		
	氏名	木村 和美	研究室名	生涯教育学	学年	DC 2 年次

<その他:新聞記事など>

	年月	氏名	内容	掲載紙誌名
	2007年8月	木村 和美	書評	部落解放研究第177号

33	指導教員	平沢 安政	副指導教員	木村 涼子		
	氏名	赤尾 勝己	研究室名	生涯教育学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	分担執筆	アメリカの成人教育と教育改革	赤尾勝己	2007年9月10日	大桃敏行、上杉孝實、井ノ口淳三、 植田健男編『教育改革の国際比較』 ミネルヴァ書房、pp.260-275.	

34	指導教員	平沢 安政	副指導教員	木村 涼子		
	氏名	岡崎 洋三	研究室名	生涯教育学	学年	MC 2 年次
	大学・研究 所等 研究 ノート	「共生日本語」へのナラティブ・アプ ローチ	岡崎洋三	2008年3月31日	大阪大学留学生センター研究論集 多文化社会と留学生交流 12号 (印刷中)	

35	指導教員	木村 涼子	副指導教員	平沢 安政		
	氏名	西村 百合子	研究室名	生涯教育学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	「同和教育論」の教室から⑧ 学校 での「区別」を考える	西村百合子	2007年8月10日	月刊ヒューマンライツ No.233 p52- 58	

36	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	平沢 安政		
	氏名	棚田 洋平	研究室名	教育文化学	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	雑誌論文	また来たんかいなにいちゃん	棚田洋平	2007年9	ヒューマンライツ 2007年9月号	
	学会発表	社会教育における学習機会への量 的アプローチ－図書館利用と社会 階層に関する時系列的研究(1)－	福嶋順・片山悠樹・ 棚田洋平ほか	2007年9	第54回日本社会教育学会	
	学会発表	冷める女の子の学習意欲－Z市学 力・生活実態調査の分析から－	伊佐夏実・棚田洋平	2007年9	第59回日本教育社会学会	
	学会発表	ニューカマー特別校の可能性－ 高校3校の事例分析から－	榎井縁・石川朝子・ 山本晃輔・棚田洋平 ほか	2007年9	第59回日本教育社会学会	

37	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	小野田 正利		
	氏名	石原 陽子	研究室名	教育文化学	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	大学・研究 所等報告	子どもと教師の相互関係における 新任教師の変容	石原 陽子	2008年3月1日	大阪大学教育文化学研究年報	
	学会発表	子どもと教師の相互関係における 新任教師の成長	石原 陽子	2007年8月1日	日本教育文化学研究大会	



38	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	中村 高康		
	氏名	前馬 優策	研究室名	教育文化学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	学力格差を縮小する学校	川口俊明・前馬優策	2007年5月31日	教育社会学研究、80、187-205	○
	学会発表	学力格差を縮小する学校-「効果のある学校」をさがす-	川口俊明・前馬優策	2007年8月30-31日	学校社会学研究会	
	学会発表	学校の力-「効果のある学校」は学力格差を克服しうるか-	志水宏吉・若槻健・川口俊明・前馬優策・上野裕史	2007年9月22-23日	日本教育社会学会第59回大会発表要旨集録、103-108	
	大学・研究所等報告	平成19年度尼崎市立小・中学校学力・生活実態調査報告	志水宏吉・伊佐夏実・川口俊明・棚田洋平・石原陽子・比嘉康則・前馬優策・館奈保子・三城佑太	2007年11月1日	平成19年度尼崎市立小・中学校学力・生活実態調査報告	
	学術論文	子どもの言語運用と家庭環境-社会言語コード論の実証的研究-	前馬優策	2008年3月	大阪大学大学院修士学位論文	
	学術論文	言語運用にみられる階層差(仮)	前馬優策	2008年3月	大阪大学大学院人間科学研究科教育文化学年報、3(印刷中)	

39	指導教員	志水 宏吉	副指導教員	平沢 安政		
	氏名	山本 晃輔	研究室名	教育文化学	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	ニューカマー特別枠高校の可能性	志水 宏吉 榎井 縁 新矢 麻紀子 今井 貴代子 石川 朝子 棚田 洋平 比嘉 康則 奥村 美保 山本 晃輔	2007年9月22日	日本教育社会学界59回大会	
	大学・研究所等報告	ニューカマーの子どもたちが生きる「現実」	山本晃輔	2008年3月1日	大阪大学教育文化学研究室年報第3号	

共生学系 在籍者 55名 回答者 16名 研究成果 有 10名 成果有の人数(%) 63%  
 回答者率 29% 無 6名

1	指導教員	内海 成治	副指導教員	中村 安秀		
	氏名	長沼 豊	研究室名	国際協力論	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	学校教育とボランティアをめぐる動向と課題	長沼 豊	2008年2月25日	日本ボランティアコーディネーター協会「ボランティアコーディネーター白書2007-2009年」(印刷中)	
	学会発表	変化の時代のボランティア学習	長沼 豊	2007年10月23日	日本ボランティア学習協会第10回研究フォーラムシンポジウム(コーディネーター)	
	教育雑誌	教育再生会議第1次報告の検討 3 規範意識の育成と奉仕活動の必修化	長沼 豊	2007年4月1日	「教職研修」2007年4月号、教育開発研究所、44-47	

2	指導教員	内海 成治	副指導教員	中村 安秀		
	氏名	中川 真帆	研究室名	国際協力論	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	大学・研究所等報告	伝統的社会的学校教育における描画指導—ケニア・マサイの就学前クラスの事例を通して—	中川真帆・内海成治	2007年10月31日	国際教育協力論集 第10巻 第2号	○
	学会発表	ケニア・ラム島における親の教育意識	中川真帆	2007年11月24日	第18回国際開発学会全国大会報告論文集 24-27.	
	研究会発表	ケニア・ラム島の教育調査報告—公教育とマドラサのダブルスクールの現状—	中川真帆	2007年11月2日	国際教育発展・協力研究会	
	研究会発表	ケニアにおける公教育とマドラサの共存に関する一考察	中川真帆	2007年12月14日	アジア教育研究会	

3	指導教員	中村 安秀	副指導教員	内海 成治		
	氏名	池上清子	研究室名	国際協力論	学年	DC 3 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	分担執筆	東アジアの人口構成の変化と社会へのインパクト	池上清子	2007年6月15日	洪沢雅英、山本正、小此木政夫、国分良成編「東アジアにおけるシヴィル・ソサエティの役割」、Pp 149-168、慶応義塾大学出版会、東京	
	学会発表	「カンボジアにおける仲間教育」(自由論題報告第5部会)	池上清子	2007年6月10日	日本人口学会第59回大会報告要旨集、Pp88-89、島根大学	
	学会発表	基調シンポジウム「アジアと日本の連携・母子保健」	中村安秀、アズルール・アスワール、シリクル・イザラヌルグ、池上清子	H19.10.7	第22回日本国際保健医療学会、P16、大阪大学	
	書評	谷口真由美著「リプロダクティブ・ライツとリプロダクティブ・ヘルス」	池上清子		「人口問題研究」、第63巻第4号、国立社会保障・人口問題研究所、東	

4	指導教員	中村 安秀	副指導教員	内海 成治		
	氏名	荒木 京子	研究室名	国際協力論	学年	DC 2 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	薬学部(科)における国際保健医療に関する実態調査	荒木京子	2007年10月7日	第22回日本国際保健医療学会 p.124	○
	学術論文	The theme of training medical staff in Malawi	荒木京子	2007年12月1日	Journal of International Health p.274	
	学術論文	国民医療費はジェネリック医薬品使用で可能か?	荒木京子	2008年3月1日	阪大紀要	○
	研究報告書	国際医療協力を携わる人材養成および登録システムの構築に関する研究	荒木京子	2008年3月1日	17指2 厚生労働省委託事業最終報告書	

5	指導教員	中村 安秀	副指導教員	内海 成治		
	氏名	李 錦純	研究室名	国際協力論	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目／書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	分担執筆	異文化間介護と多文化共生—誰が介護を担うのか—	川村千鶴子、李 錦純他	2007年5月15日	川村千鶴子・宣元錫編 明石書店	

6	指導教員	中村 安秀	副指導教員	内海 成治		
	氏名	水元 芳	研究室名	国際協力論	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	ボツワナ 地方保健行政区のマルチセクターHIV/エイズ対策に関する調査	水元芳・根本直幸・吉村悦司・瀬古素子・Vitalis G.	2007年10月8日	第22回日本国際保健医療学会	
	学会発表	南アフリカ ハウテン州におけるヘルス・プロモーション・スクール・アプローチ実施状況調査	水元芳・根本直幸・吉村悦司・Elamin Mohamed	2007年10月8日	第22回日本国際保健医療学会	

7	指導教員	渥美 公秀	副指導教員	堤 修三		
	氏名	堀江 尚子	研究室名	共生社会論	学年	DC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	The norm for inclusion at an institution for homeless people	Naoko HORIE	2007年6月17日	日本グループ・ダイナミクス学会第54回大会発表論文集 132-133.	
	学会発表	自立支援センターにおける協働的実践 ナラティブ・アプローチによる一考察	堀江 尚子	2007年9月18日	日本心理学会第71回大会発表論文集 129.	
	研究発表	ホームレス自立支援センターでの自立支援の困難さ	堀江 尚子	2007年12月1日	大阪YMCA創立125周年記念研究フォーラム	
	学術論文	ホームレス自立支援センターでの自立支援の困難さ	堀江 尚子	印刷中	大阪YMCA創立125周年記念研究論文集	○
	学会発表	生活保護施設での協働実践(予定)	堀江 尚子	2008年3月(予定)	フィールドワーク社会心理学会	
	紀要論文	自立支援センター退所者の語り:なぜ彼は失踪したのか?	堀江 尚子	印刷中	ボランティア人間科学紀要	

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2007.12	堀江尚子	大阪YMCA創立125周年記念研究フォーラム奨励賞	大阪YMCA

8	指導教員	斉藤 弥生	副指導教員	堤 修三		
	氏名	内田 哲	研究室名	共生社会論	学年	MC 2 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	地域における社会教育と地域福祉との連携についての研究	内田 哲	2007年6月10日	日本地域福祉学会第21回大会要旨集 p230	

9	指導教員	斉藤 弥生	副指導教員	堤 修三		
	氏名	久保 恵理子	研究室名	共生社会論	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	翻訳	スウェーデンにおける高齢者の家族介護者の現状	Björn Albin, Christina Siwertsson, Jan-Olof Svensson	2008年3月末日	地域福祉研究 36号(印刷中)	○
	学会発表	認知症高齢者と家族の関係に関する一考察	久保 恵理子	2008年3月1日	2007年度関西社会福祉学会大会論文集(予定)	

10	指導教員	斉藤 弥生	副指導教員	堤 修三		
	氏名	中川 威	研究室名	共生社会論	学年	MC 1 年次
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	在宅高齢者における「老年的超越」に関する探索的研究	中川威	2007年6月22日	日本老年社会科学大会第49回大会論文集 202.	

2007年度 PD・SPDの研究活動記録

1	指導教員	大坊 郁夫				
	氏名	五十嵐 祐	研究室名	対人社会心理学	SPD	
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	Culture, trust and social networks.	Igarashi, T., Kashima, Y., Kashima, E. S., Farsides, T., Kim, U., Strack, F., Werth, L., & Yuki, M.	印刷中	Asian Journal of Social Psychology	○
	学術論文	No mobile, no life: Self-perception and text-message dependency among Japanese high school students.	Igarashi, T., Motoyoshi, T., Takai, J., & Yoshida, T.	印刷中	Computers in Human Behavior	○
	学会発表	Dynamics of social networks, trust, and social identity.	Igarashi, T., Robins, G., & Pattison, P.	2007年5月4日	The 27th International Sunbelt Social Network Conference, Athens, Greece.	○
	学会発表	Culture, trust and social networks.	Igarashi, T., Kashima, Y., Kashima, E. S., Farsides, T., Kim, U., Strack, F., Werth, L., & Yuki, M.	2007年6月15日	The 54th Annual meetings of the Japanese Group Dynamics Association, Nagoya, Japan. pp. 122-123.	
	学会発表	Perception of group entitativity in social networks.	Igarashi, T., & Kashima, Y.	2007年7月24日	The seventh biennial conference of the Asian Association of Social Psychology, Sabah, Malaysia.	○
	学会発表	社会的ネットワークの知覚された実体性	五十嵐祐・嘉志摩佳久	2007年9月23日	日本社会心理学学会第48回大会発表論文集, 104-105.	
	学会発表	Perceived entitativity and patterns of interaction in small and large social networks.	Igarashi, T.	2008年2月7日	The ninth annual meeting of the Society for Personality and Social Psychology, Albuquerque, NM.	○
	小講演	メディアコミュニケーションと社会的ネットワークの変容: 社会関係資本論によるアプローチ	五十嵐祐	2007年6月15日	日本グループ・ダイナミクス学会第54回大会発表論文集, 7.	
	研究会	Entitativity of social networks.	Igarashi, T.	2008年2月12日	Brownbag seminar, University of Southern California, CA.	
	研究会	社会的ネットワークの実体性知覚	五十嵐祐	2008年2月23日	第345回関西社会心理学研究会(大阪大学)	

<受賞>

年月	受賞者名	賞名	授与団体
2007.6	Igarashi, T., Kashima, Y., Kashima, E. S., Farsides, T., Kim, U., Strack, F., Werth, L., & Yuki, M.	グループ・ダイナミクス学会第54回大会優秀発表賞(English Session)	

2	指導教員	中道 正之				
	氏名	山田 一憲	研究室名	比較発達心理学	PD	
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学術論文	Grooming interactions between unrelated adult females in a free-ranging group of Japanese macaques ( <i>Macaca fuscata</i> ).	M. NAKAMICHI & K. YAMADA	2007年6月1日	<i>American Journal of Primatology</i> 69:652-663	○
	学会発表	ニホンザルの子の発声に対する母ザルの反応性	山田一憲・志澤康弘・中道正之	2007年7月1日	霊長類研究 23 (増補版): pp.S-3	
	学会発表	音声を用いた母子コミュニケーション-離乳期のニホンザルを対象として-	山田一憲・志澤康弘・中道正之	2008年3月20日	第19回発達心理学会大会	
	学会発表	ニホンザルにおける母子相互交渉と子の社会的発達	山田一憲	2007年2月23日	第26回こころとからだ研究会	
	学会発表	離乳期の母子の葛藤: ニホンザル母子に見られる対立と妥協	山田一憲	2007年7月21日	第6回食発達研究会	
	学会発表	勝山ニホンザル集団における母子相互交渉と子の社会的発達	山田一憲	2007年5月19日	第8回ニホンザル研究セミナー	

3	指導教員	藤川 信夫				
	氏名	藤田 雄飛	研究室名	教育人間学	PD	
	論文分類	論文題目/書名	著者名	発行年月	論文の掲載誌名	審査有無
	学会発表	De rétablissement de l'autonomie et l'éducation japonaise aujourd'hui	藤田雄飛	2008年2月23日	Colloque scientifique international Arles; Journée d'étude pré paratoire-Les voyage de la Pédagogie Institutionnelle	